

災害時の安心・安全な避難所運営のために

(太陽光発電・蓄電池システムの運用手順書 概要版)

生浜東小学校

- 15kWhの蓄電池は使いすぎたらすぐに空になってしまいます!
- 安心・安全に電気利用するため、きちんと手順書を準備しましょう!

備えあれば…

災害発生

突然の停電!

手順書に従って対応!

設備は壊れていないかな?

設備の確認はチェック表で、確実に実施

- ①蓄電池
- ②災害時専用コンセント
- ③電気配線
- ④分電盤(L-A1、A2 など)
- ⑤天井照明器具等
- ⑥パワコ

使い始めはどうするの?

使い方を知っているから安心して使える!

操作手順は個別に準備、図入りだから簡単!

- ①それぞれのコンセントで何をを使うかは検討済み
- ②使い始めの手順は、手順フローに従いましょう
- ③スイッチは同時に入れないようにしましょう ※困ったときはQ & Aへ

蓄電池は空にならない?

あらかじめ必要な設備は絞り込んでルール化

- ①蓄電池残量の下限は、4,000Whです。
- ②15時の時点でフル充電(15,000Wh)を目指しましょう。
- ③天気の条件により利用ルールが分かります。(悪・普・快ルール)

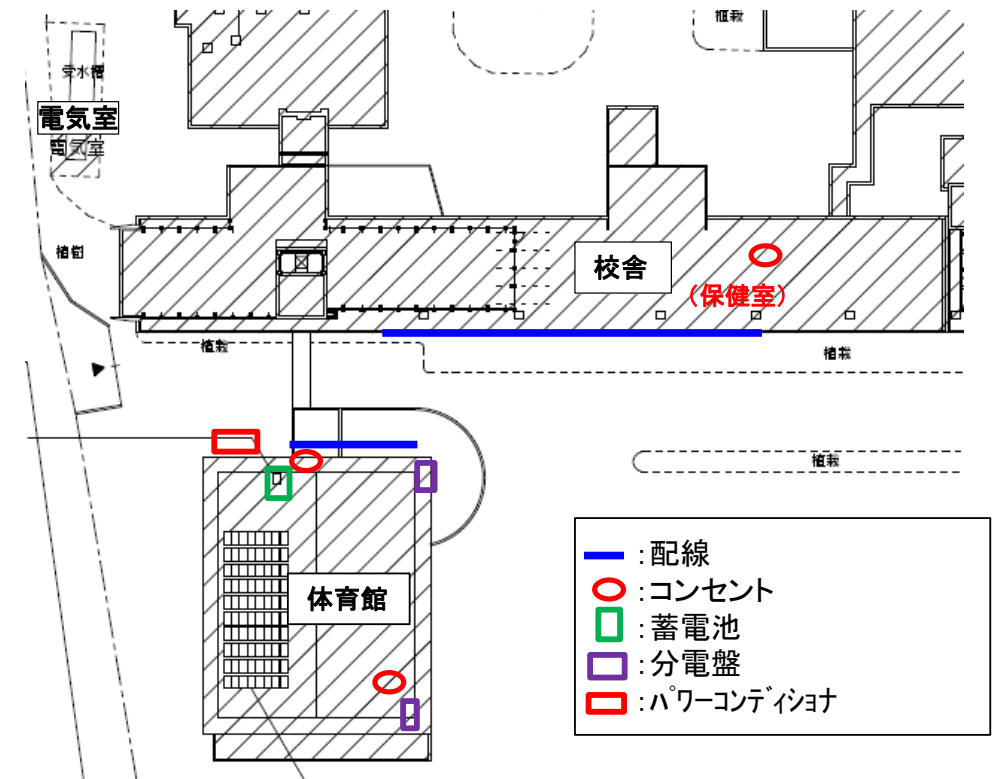
注意事項

- ・停電の運用はみんなに知ってもらいましょう
- ・周知方法も手順化して、きちんと使い方を管理
- ・スイッチやコンセントにも表示をします

お知らせ方法もルール化!!

◎設備に破損がないか確認。蓄電池が使える状態かを把握!

- 【特に注意】
- ・設備の転倒
 - ・断線
 - ・焦げた臭い



◎使う電気と蓄える電気の出入りバランスが大事。事前にルール化しておけば安心!

時間	残量目安(Wh)/%	運用ルール		
6:00	4,000 / 26.7	悪 最悪条件	普 一般的な天気	快 余剰発電利用
9:00	5,000 / 33.3			
12:00	10,000 / 66.7			
15:00	15,000 / 100.0	悪 最悪条件	普 一般的な天気	
17:00	15,000 / 100.0			
20:00	10,000 / 66.7			
0:00	7,000 / 46.7			
3:00	5,300 / 35.3			

昼のルール

夜のルール

残量確認方法



蓄電量はモニターで確認
確認方法は操作訓練でマスター

ここをチェック

残量は%表示なので、換算が必要です。
例えば、15,000Whのとき、100%です。